

市長と地域の懇談会【二見】

| | |
|--------------|--------------------------|
| ・開催日時 | 令和2年12月3日（木） 19:00～20:00 |
| ・まちづくり協議会区域名 | 二見まちづくりの会 |
| ・会場 | 二見生涯学習センター 1階 |
| ・参加者 | 13人 |

《質問・意見》

- ・地区懇談会（11/6）で協議した、学校移転先の通学路の課題と新しい取組である校舎及びグラウンド等を共有することについて、その経緯と考えを聞きたい。
- ・伊勢市道路整備プログラムがHP掲載されている、江1号線、光の街三津線の整備の実施について、学校開校後でも事業を行えないのか、お考えを聞かせてほしい。

《回答》

- ・新しい試みである校舎、運動場、駐車場の共有は、住み分け方や事故の抑制について、今後も議論を重ねていきたい。
- 提案については、都市整備部も認識しているが国の予算等のこともあるので、直ぐに実行することはできないが今後、検討したい。

《質問・意見》

- ・民生委員の欠員と高齢化、次の担い手の確保について何か考えがあれば聞かせてほしい。

《回答》

- ・来年からいろいろな議論をさせていただきたい、他県の先進事例である民生委員協力制度などを研究し、民生委員の負担軽減が少しでも図れるよう、業務の範囲についても現実のお話を聞かせていただき改善に繋げていきたい。

《質問・意見》

- ・学校予定地に近接する住民からの意見として、横断歩道より歩道橋を設置した方が子供たちの安全性が高いのではないかと。
 - ・開校後、団地内を通り抜ける子供たち、特に自転車通学の中学生への安全対策について、道路加工（ハンプ）など含めた検討してもらいたい。
 - ・学校予定地の土砂について、当初の搬入計画と違うのではないかと。再度、学校が出来上がる前に現在運搬中の土砂等の検査を行い、安全性の確認をしていただきたい。
- 今後も光の街として要望を出させていただくので対応をお願いしたい。

《回答》

- ・歩道橋を整備することは別にして、交通安全には努めていきます。また様々なご意見いただければと思っている。
- ・土砂の件は、どのようなやり方があるのか一度確認したい。

《質問・意見》

- ・各種イベントが中止になっているが、津波避難訓練実施の案内をしたところ、否定的な意見もいただいています、市長の考えを少し聞かせてください。

《回答》

- ・コロナ禍での避難訓練の実施などは、今だからこそ出来ることもあると思います。危機管理課には専門的な知識を有する職員もいるので、必要に応じて依頼をしてもらえれば、市として協力させていただく。

《質問・意見》

- ・高台や津波避難タワーなど一次避難先は対応できているが、伊勢市でもう一步進んだ計画をつくり提示してほしい。また、現在の対策について聞かせてほしい。

《回答》

- ・市内の山手地区や近隣の市町村と連携しながら避難ができる環境を整える必要があると考えている。中長期に及ぶ二次避難できる環境づくりに努めている。今後、分かりやすい情報の共有ができるように考えたい。

《質問・意見》

- ・荘区の住民から津波避難施設が現小中学校であることについて「地震・津波の影響を考慮して高台移転したのに、小中学校に避難しても大丈夫なのか？」質問があり、市から避難施設に指定することの安全性をアピールしてもらいたい。

《回答》

- ・津波避難タワー7箇所、マウンド1箇所、小中学校15箇所、その他施設4箇所があり、高齢者の移動速度と居住者数などを考慮して施設を設置している。居住者の心理的なご意見での施設の設置は困難なので、ご協力をお願いしたい。

《質問・意見》

- ・松下区には避難場所がなく現在、江の太江寺となっているが、地震で橋が不通になれば行くことができない。再度、松下の健康センターを大雨時の避難施設に指定することを検討してほしい。

《回答》

・近年、国も考えを変えて避難所までの道中に危険箇所がある場合、安全なご近所や親戚宅も検討していただくように発信している。ぜひ近隣で話し合ってもらい避難できる場所を確保していただきたい。

《質問・意見》

・新たな学校の共有グラウンドは陸上トラックと野球グラウンドが重なり使用する設定がされている。設定の変更や共有を見直して新たに用地を求めるなど、別の運動場を確保できないか検討、調整してほしい。

《回答》

・予算面からも先に述べた3校より必要になり、要望を受けた歩道橋設置も予算確保が厳しい状況であり、新たに土地を求めることは現実的に無理です。ただし、他のやり方はあると思うので、皆さんと意見交換しながら工夫して進めていきたい。